



日本の指針

令和6年6月11日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

既存インフラと産業は未来を求めることができる。それは政治のリーダーシップが未来を決定できるのである。

これらは現状の世界情勢において、政治がこれらを行うことを提案するものである。一切の困難に対して新しい政治決定や外交政策は、必ず未来を可能とできるのである。

これらは政治の有する使命であり、責任なのである。

これらは新しい国家像や計画において、未来という新たな希望を実現することを提案したい。

政治は国民とともにあるものなのである。

未来を諦めることは愚かな選択である。その時行動を求めれば現実が与えられるのである。

新しい国家は、全ての解決へて、その健全な国家への転換を実現できるのである。

これらは政治家の行動と理解が、未来を実現できることを意味するものである。

既存の国家から、新しい国家への転換は、自己の自立という新しい合意における現実の創造を提案したい。

絶望は、行動が伴わないことの現実であり、希望は行動を基盤とした未来なのである。